

T6303 モノラルヘッドセット ブラックラバー 取扱説明書

本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
本取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。
また、ご使用になる携帯電話機の取扱説明書の「Bluetooth」に関する項目もあわせてお読みください。取扱説明書は大切に保管し、いつでも参照できるようにしてください。

警告

- 車を運転中の携帯電話機の操作は、事故を招く危険な行為ですので、絶対にお勧めできません。
- 本製品を接続する携帯電話機のマニュアルをよくお読みの上、各メーカーが定める手順に従ってください。
- 万が一、本製品から漏れ出した液が目などに入った場合は、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。
- 本製品のプラグ、ジャックの端子をショートさせないでください。発熱、破裂、発火やケガの原因となります。
- 本製品を水で濡らしたり、雨の中で使用しないでください。
- 液体や異物などが内部に入った場合は、すぐに使用を中止し、電源をお切りください。
- 濡れた手で本製品及び付属品に触れないでください。感電する危険があります。
- 小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。誤飲、窒息等の恐れがあります。
- 病院や交通機関の一部など、高周波無線機の電源を切ることが義務づけられている場所では、本製品の電源をお切りください。
- 本製品を落としたりぶつけたりして、強いショックを与えないでください。
- 本製品の分解、改造などは絶対におこなわないでください。それらに起因するトラブルに関しましては、当社では責任を負いかねます。
- 航空機に搭乗する際は、事前に本製品の電源を切り、機内では絶対に使用しないでください。
- USBケーブルは、必ず付属品をご使用ください。
- 付属品以外をご使用になると、電圧や端子の極性が異なる場合があります。発煙や発火の恐れがありますので、必ず付属品をご使用ください。
- 煙、異臭、発熱など異常を感じたらすぐに使用を中止し、電源をお切りください。

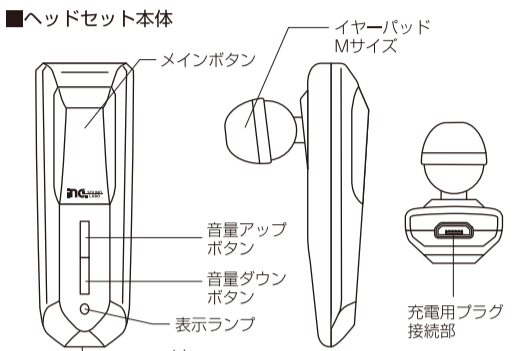
注意

- 本製品はBluetoothのヘッドセットプロファイル（HSP）またはハンズフリープロファイル（HFP）対応の携帯電話機と接続して使用することを目的に設計されています。Bluetooth機能を搭載していない携帯電話機ではご使用になりません。
- 本製品は電波による通信機器です。電波状況や携帯電話機の電池残量、及び消耗状態、本製品の内蔵電池の残量、及び消耗状態など条件によって、本取扱説明書記載の機能、動作の一部働かない場合があります。予めご了承ください。
- 車内でのご使用の際、車のエアバック作動の範囲内に本製品を置かないでください。また、ダッシュボード上やエアコンの吹き出し口など、直射日光が当たる場所や高温になる場所には放置しないでください。
- 次の場所では保管及び使用しないでください。「強い磁界が発生する場所」「静電気が発生する場所」「温度や湿度が高い場所」「火気の周辺、熱気のこもる場所」「漏電、漏水の危険がある場所」
- 静電気による破損を防ぐため、本製品を触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。
- 本製品を使用し、万が一携帯電話機内の各種データが破損、消失しても当社では一切の責任を負いかねます。必ず、バックアップデータをお取りになりご使用ください。
- 本製品をポケットやバッグの中に入れて持ち運ぶ際には、必ず電源を切ってください。ボタンが押されますと、携帯電話機が誤作動する原因となります。
- 携帯電話機及び使用アプリケーションにより本製品の操作に対応しない場合があります。
- 本製品は日本国内の携帯電話通信会社に対応する携帯電話機専用です。その以外の電話機では使用しないでください。
- お買い上げの際のレシート等は大切に保管してください。万が一の製品不良による返品交換時に必要となります。（保証期間/お買い上げ日より6ヶ月）
- 仕様、外観等は改良のため、予告なく変更する場合があります。

特長

- Bluetooth搭載のスマートフォン/携帯電話専用のハンズフリーです。携帯電話機に触れることなく、通話が可能です。
- 使いやすさを追求した通話専用モデル。
- 充電は家庭用コンセントから簡単に充電できるAC充電器付。またUSBポートからも充電できるUSB充電ケーブル付属。
- ヘッドセット本体はすべりにくいラバー塗装仕様。
- 安定した装着が可能な耳掛けイヤーフック付属。
- イヤホンは音質性に優れたカナルタイプ。S.M.Lの3サイズのイヤープッドが付属されているので、耳穴に合わせてお選びください。
- 1回の充電で、連続通話最大約9時間、待ち受け最大約240時間が可能な省電力設計です。
- 電波状況、使用状況などにより時間は異なります。
- 充電は家庭用コンセントから簡単に充電できるAC充電器付。またUSBポートからも充電できるUSB充電ケーブル付属。
- Bluetoothは、デジタルデータ2.4GHz ISMを利用した無線通信技術です。携帯電話機・パソコンなどワイヤレスで接続でき、約10m以内であれば通話が可能です。（障害物などの状況によって異なります）
- ※本製品はBluetooth 2.1 +EDR仕様を採用していますが、他のBluetooth対応機器との接続は互換性によることろがあり、相互動作は保証しておりません。携帯電話機の適合に関しましては、パッケージ記載の適合表をご確認ください。

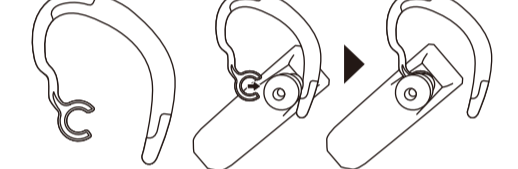
製品構成と各部の名称



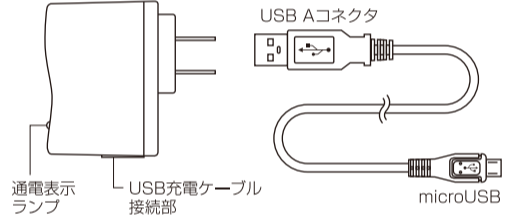
イヤープッド

本製品にはS・M・L3サイズのシリコンイヤープッドを付属しています。（出荷時はMサイズを装着）Mサイズが耳穴にフィットしない場合は、SサイズまたはLサイズに交換してください。

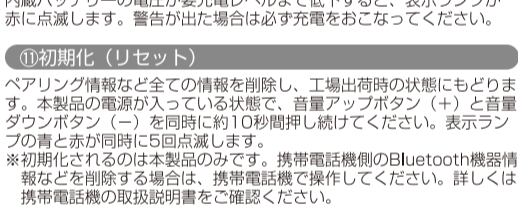
イヤーフック



AC充電器



USB充電ケーブル



バッテリーLow警告

内蔵バッテリーの電圧が要充電レベルまで低下すると、表示ランプが赤に点滅します。警告が出た場合は必ず充電をおこなってください。

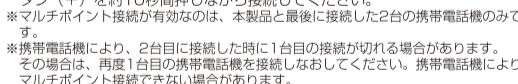
初期化（リセット）

ペアリング情報など全ての情報を削除し、工場出荷時の状態にもどります。本製品の電源が入っている状態で、音量アップボタン（+）と音量ダウンボタン（-）を同時に約10秒間押し続けてください。表示ランプの青と赤が同時に5回点滅します。
※初期化されるのは本製品のみです。携帯電話機側のBluetooth機器情報などを削除する場合は、携帯電話機で操作してください。詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご確認ください。

マルチポイント接続（携帯電話機により使用できない場合があります。）

本製品は2台の携帯電話機を同時に待ち受け可能なマルチポイント接続に対応しています。※電話機側のBluetooth仕様によりマルチポイント接続できない場合があります。※au携帯電話機や海外メーカー製携帯電話機でのマルチポイント接続はできません。また、使用する携帯電話機の組み合わせによりマルチポイント接続できない場合があります。1台接続のみでご使用ください。※一部携帯電話機によりマルチポイント接続できない場合があります。その場合は1台接続のみでご使用ください。

同時に2台の携帯電話機の待ち受けが可能



マルチポイント接続に関するご注意

- ※マルチポイント接続は2台の携帯電話機を使用するため、使用する携帯電話機側のBluetooth仕様によりマルチポイント接続できない場合があります。
- ※マルチポイント接続に関する操作方法、携帯電話機適合や組み合わせについてのサポートは弊社では承っておりません。予めご了承の上、ご使用ください。

- 1台目の携帯電話機と本製品をペアリングしてください。
 - 1台目の携帯電話機を操作し本製品を接続してください。
 - 2台目の携帯電話機と本製品をペアリングしてください。
 - 2台目の携帯電話機を操作し本製品を接続してください。
- ※2台目に接続する携帯電話機、スマートフォンの機種がBluetooth接続設定時に自動接続をおこなう機種で接続出来ない場合は、本製品の音量アップボタン（+）を約10秒間押しながら接続してください。
- ※マルチポイント接続が有効なのは、本製品と最後に接続した2台の携帯電話機のみです。
- ※携帯電話機により、2台目に接続した時に1台目の接続が切れる場合があります。その場合は、再度1台目の携帯電話機を接続しなおしてください。携帯電話機によりマルチポイント接続できない場合があります。
- ※携帯電話機側Bluetooth仕様によりau携帯電話機、海外メーカー製携帯電話機や一部の携帯電話機によっては、マルチポイント接続はできません。誤ってマルチポイント接続した場合は、着信時に本製品で通話開始ができない等の不具合が発生します。その場合は、2台とも接続を解除し、携帯電話機側の登録機器一覧から本製品を削除し、再度ペアリングをおこない、1台のみの接続でご使用ください。
- ※本製品との接続を切る場合は電話機側を操作し、本製品の接続を切断してください。もしくは、本製品の音量ダウンボタン（-）を約10秒間押しして接続を切断してください。

電話を受けるには/電話をかけるには

③電話を受ける、④電話をかけるをご参照ください。

リダイヤル（2台目に接続した電話機のみ有効）

携帯電話機が待ち受け状態で、メインボタンを短く2回押すと、2台目に接続した携帯電話機から最後に発信した番号に発信します。
※携帯電話機によっては本機能に対応していない場合や、対応していても相性により動作が不安定な場合があります。

1台の携帯電話機で通話中に別の携帯電話に着信があった場合

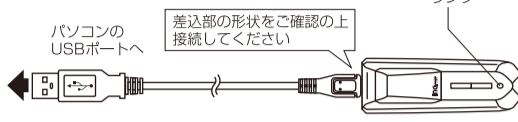
- 電話機Aの通話を終了し、電話機Bの通話に切り替える場合 →メインボタンを1回押す
 - 電話機Aの通話継続し、電話機Bの着信を拒否する場合 →メインボタンを約2秒間押す
 - 電話機Aの通話を保留にし、電話機Bの通話に切り替える場合 →メインボタンを2回押すとさらにメインボタンを2回押すと電話機Bの通話が保留になり、電話機Aの通話に切り替わる
- ※2台の携帯電話が通話及び保留の状態でもメインボタンを1回押すと両方の通話が終了します。個別に通話を終了することはできません。

ご使用前に必ず充電してください

- ヘッドセット本体にはバッテリーが内蔵されています。出荷時には十分に充電されていませんので、必ずご使用前に充電してください。
- 必ず付属のUSB充電ケーブル、AC充電器をご使用ください。
- 充電を開始すると、本製品の電源は自動的にOFFになります。充電中は本製品の電源を入れなくてください。
- 満充電に要する時間は約2時間です。
- 内蔵のリチウムイオンポリマー電池は約500回繰り返し充電できます。充電した後も使用時間が極端に短くなった場合は電池の寿命です。※内蔵電池は交換できません。予めご了承ください。

パソコンで充電する

- ①あらかじめパソコンの電源をONにし、起動しておいてください。
- ②ヘッドセット本体とパソコンのUSBポートを付属のUSB充電ケーブルで接続してください。
- ③充電中は、表示ランプが赤に点灯します。
- ④充電が完了すると、表示ランプが青に点灯します。USBケーブルを抜いてください。



家庭用コンセントで充電する

- ①ヘッドセット本体とAC充電器を付属のUSB充電ケーブルで接続します。
- ②AC充電器のプラグを家庭用コンセントに接続します。AC充電器の通電表示ランプが点灯します。※AC100V～240V以外の電圧には絶対に接続しないでください。
- ③充電中は、ヘッドセット本体の表示ランプが赤に点灯します。
- ④充電が完了すると、表示ランプが青に点灯します。USB充電ケーブルを外してください。※AC充電器の通電表示ランプは、充電完了後も消灯しません。

※充電が完了したら、速やかにUSB充電ケーブルを外してください。接続したまま放置すると、バッテリーの寿命を縮める場合があります。※バッテリーが完全に放電しているとき、充電中の表示ランプが点灯するまでしばらく時間がかかる場合があります。※バッテリーの残量が少ない状態でも使用すると、バッテリーの寿命を縮める原因となり、待ち受け時間も短くなります。ご使用前には毎回充電するようにしてください。※長期使用しない場合は約6ヶ月ごとに充電してください。※本製品以外のUSB充電ケーブルやAC充電器以外を使用しないでください。付属品以外のケーブルや充電器を使用することにより発生した故障や破損・事故等につきましては一切の責任を負いかねます。

ご使用方法

初めてご使用の際には、携帯電話機と本製品をそれぞれ接続相手として登録（ペアリング）する必要があります。

一度ペアリングすれば、次回からペアリングする必要はありません。

接続

ペアリング後、携帯電話機と本製品をBluetooth接続することにより通話可能になります。

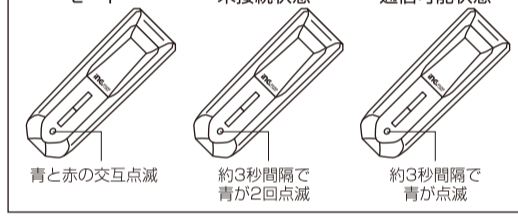
①電源の入力方、切り方

- ①メインボタンを約3秒間押し続けると、表示ランプが青に5回点滅し電源が入ります。
- ②電源を切る場合はメインボタンを約3秒間押し続けます。表示ランプが赤に5回点滅し、電源が切れます。

②携帯電話機とペアリング・接続

- ①携帯電話機と本製品を約1m以内に置きます。
- ②本製品の電源が切れている状態で、メインボタンを約6秒間押し続けると、表示ランプが青と赤に交互点滅しペアリングモードになります。※メインボタンを約3秒間押し続けた時点で、電源が入り表示ランプが青に5回点滅しますが、メインボタンは放さないでください。表示ランプが青と赤に交互点滅を開始したらメインボタンを放してください。※約2分以上にペアリングが完了できない場合、ペアリングモードが解除され電源がOFFになります。その場合は、再度ペアリングの操作をおこなってください。
- ③携帯電話機のBluetooth設定に従い、ペアリングをおこないます。機種により設定方法が異なりますので、必ず携帯電話機の取扱説明書をよくお読みいただき、不明な点は各通信会社までお問い合わせください。
- ④携帯電話機が本製品を認識すると、携帯電話画面の接続機器リストに本製品の型式名「HF009」が表示されます。携帯電話機を操作し選択してください。
- ⑤パスキー（認証コード）の入力を要求されたら「0000」（ゼロ四つ）を入力してください。※パスキー（認証コード）は、パスコード、PINコード、PINナンバーなどと表示される場合があります。※携帯電話機によっては、パスキー入力画面に移る前に、携帯電話機の端末認証番号の入力を求められる場合があります。その場合は、予め決められた認証番号か、お客様が任意で設定された認証番号を入力してください。本製品のパスキーとは異なりますのでご注意ください。
- ※パスキーの入力が不要な携帯電話機もあります。※本製品は複数の機器（最大8台）とペアリングが可能です。※ペアリング情報を削除する場合は、携帯電話機の登録リストから「HF009」を削除してください。
- ⑥ここまでの操作で、ペアリングと同時に本製品と携帯電話機が接続され通信可能状態になる機種と、さらに携帯電話機で「接続」の操作が必要な機種があります。接続の操作については、携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。※接続機器の種類「対応プロファイル」の選択画面が表示された場合は「ハンズフリー（HFP）」を選択してください。「ワイヤレス機器」「ヘッドセット」「オーディオ」などは選択しないでください。
- ⑦本製品と携帯電話機の接続が完了し、通信可能状態になると本製品の表示ランプは、約3秒間隔で青が点滅します。※携帯電話機と未接続状態（約3秒間隔で青が2回点滅）が約10分継続すると、本製品の電源は自動的にOFFになります。
- ⑧一度ペアリングをおこなえば、携帯電話機や本製品の電源をきったりBluetooth機能をOFFにするなどして接続が切れた場合でも、次に使用する際に再度ペアリングからおこなう必要はありません。ただし、「接続」については、自動で接続をおこなう機種と携帯電話機による接続操作が必要な機種があります。携帯電話機による接続操作については携帯電話機の取扱説明書をご覧ください。※以下の場合は再度ペアリングが必要になります。
 - ・本製品を初期化したり、携帯電話機から本製品との接続履歴が削除された場合。
 - ・修理などをおこなない、ペアリング情報が消去された場合。
 - ・ペアリング情報が正しく認識できなくなったり、本製品が操作不能になったり、接続が不安定になった場合には、ペアリング情報を削除し再度ペアリングの操作をおこなってください。

ペアリングモード



操作/表示ランプ一覧

状態	ボタン操作	表示ランプ	備考
電源ON	メインボタン（約3秒間）	青が5回点滅後、待ち受け状態に移行	ピーブ音有
電源OFF	メインボタン（約3秒間）	赤が5回点滅後、電源OFF	ピーブ音有
ペアリングモード	メインボタン（電源OFF状態から約6秒間）	青と赤が交互点滅（約2分間）	ピーブ音有
待ち受け状態（電話機と接続時）	—	約3秒間隔で青点滅	—
待ち受け状態（電話機と未接続時）	—	約3秒間隔で青が2回点滅	—
着信時	—	約3秒間隔で青点滅	メインボタンで受話
通話中	—	青がゆっくり点滅	メインボタンで終話
マイクミュート	音量ダウンボタン（-）（約3秒間）	赤点灯	—
音声切り替え	音量アップボタン（+）（約3秒間）	—	—
リダイヤル	メインボタンを短く2回	—	—
着信拒否	メインボタン（約2秒間）	—	—
バッテリーLow	—	赤点滅	基準電圧以下電源OFF
オートパワーOFF	—	電話機と未接続状態→約10分後	電源OFF
充電中	—	赤点灯	—
充電完了	—	青点灯	—

製品仕様

■ヘッドセット部仕様

型式名	HF009
通信方式	Bluetooth Version 2.1+EDR
最大通信距離	見通し距離約10m（Class2）
対応プロファイル	ハンズフリー（HFP）、ヘッドセット（HSP）
ペアリング	最大ペアリング登録台数8台
動作周波数	2.40GHz～2.48GHz
パスキー（認証コード）	0000（ゼロ四つ）
内蔵バッテリー	リチウムイオンポリマー電池
充電時間	約2時間
連続通話時間	最大約9時間（電波状況など条件によって変わります）
待ち受け時間	最大約240時間（電波状況など条件によって変わります）
サイズ	H56.3×W18.8×D33.5mm
重量	約10g

■AC充電器仕様

入力電圧	AC100V-240V/50-60Hz
出力電圧/電流	5V/最大150mA
サイズ	H59.6×W65.5×D24mm
重量	約35g

■USB充電ケーブル仕様

USB端子	USB Aコネクタ/microUSB
コード長	約30cm
重量	約15g

③電話を受ける

- ①携帯電話機に着信したら、メインボタンを1回押ししてください。※メインボタンを長押しすると別の機能が働いたり電源がOFFになりますのでご注意ください。
- ※ヘッドセットのイヤホンから聞こえる着信音は、電話機に設定した音とは異なる場合があります。着メロ等を設定している場合も同様です。
- ※携帯電話機本体から着信音が鳴動するように設定している場合、ヘッドセットのイヤホンからは着信音が聞こえない場合があります。

④電話をかける

- ①電話をかけるには、携帯電話機側で発信操作をおこなってください。※携帯電話機によっては、ヘッドセットから音声がかかってくるまでに数秒かかる場合があります。
- ※携帯電話機によっては発信後、音量アップボタン（+）を約3秒間押し続け、音声通話を電話機からヘッドセットに切り替える必要があります。スムーズに切り替わらない場合は、電話機の操作で切り替えてください。操作方法については電話機の取扱説明書をご覧ください。

⑤音量調整

音量アップボタン（+）、音量ダウンボタン（-）を小刻みに押し調整してください。
※長押しすると別の機能が働く場合がありますのでご注意ください。

⑥マイクミュート（消音）

通話中に、音量ダウンボタン（-）を約3秒間押し続けると、マイクミュート機能が働き、通話相手にこちらの音声がかかえません。再度、音量ダウンボタン（-）を約3秒間押し続けると、マイクミュート機能が解除されます。
※携帯電話機によっては本機能に対応していない場合や、対応していても相性により動作が不安定な場合があります。

⑦音声通話の切り替え

通話中に、音量アップボタン（+）を約3秒間押し続けると、電話機での音声通話に切り替わります。再度、音量アップボタン（+）を約3秒間押し続けると、ヘッドセットでの通話に戻ります。
※携帯電話機によっては本機能に対応していない場合や、対応していても相性により動作が不安定な場合があります。

⑧リダイヤル

携帯電話機が待ち受け状態で、メインボタンを短く2回押すと、携帯電話機から最後に発信した番号に発信します。
※携帯電話機によっては本機能に対応していない場合や、対応していても相性により動作が不安定な場合があります。

⑨着信拒否

着信中に、メインボタンを約2秒間押し続けると、着信拒否することができます。
※着信拒否の操作は、携帯電話機の機種や設定により異なります。例：着信を遮断する接続できない旨のアナウンスが流れる留守番電話サービスに接続する等詳しくは携帯電話機の取扱説明書をご確認ください。
※携帯電話機によっては本機能に対応していない場合や、対応していても相性により動作が不安定な場合があります。